

明海大学

不動産学部



Faculty of Real Estate Sciences

要保管

授業・行事など、年間を通しての大切なお知らせです。1年間大事に保管してください。

オリエンテーション資料 2020

新1年生

(2020年度入学)



学籍番号：

名前：

2020年度 1年生オリエンテーション資料 目次

1. 不動産学部の教育課程編成・学位授与に関する方針 (兼重先生)	1
2. 出席及び教室運営ガイドライン (宅間先生)	4
3. 2020年度 オフィスアワー 前期	5
4. 不動産学部行事等年間スケジュール(2020年度) ※今後、変更の可能性あり	6
5. 不動産取引演習A・B(1年生必修科目) (中村先生)	7
6. 不動産学部1年生向けガイダンス動画のご案内 (中村先生)	9
7. 不動産法入門 テキストの入手方法について(新1年生) (浜島先生)	10
8. 資格取得に伴う単位認定の申請を忘れずに<1年生> (兼重先生)	11
9. 不動産学部の宅建合格支援プログラム (中村先生)	12
10. スチューデントルーム (中村先生)	13
11. 不動産特別講義Ⅰ (周藤先生)	14
12. 不動産特別講義Ⅱ (竹迫先生)	15
13. 海外短期研修制度のご案内 (周藤先生・表先生)	16
14. インターンシップについて (前島先生)	18
15. 資格外労働の注意 (山本先生)	19

教員一覧

試験の厳格化について(説明のみ)

不動産学部教育課程編成・学位授与に関する方針 (兼重先生)

不動産学部では、「どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのか」(ディプロマ・ポリシー)と、これを達成するために、「どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのか」について基本的な方針(カリキュラム・ポリシー)を定めています。

大学のホームページで広く公開している方針になりますので、よく把握してください。

<ディプロマ・ポリシー> (学位授与に関する方針)

不動産学科では、次の要件を満たした者に学士(不動産学)の学位を授与する。

1. 不動産学を構成する法学、経済学、経営学、工学について、基本的な考え方、考察や分析の手段、判断の基準がわかるとともに、不動産学の論考に必要な以下の知識を身につけていると判断できる。
 - ① 私法、公法の全体像を把握するとともに、不動産に関連が深い法律知識を身につけていると判断できる。
 - ② マクロ経済学、ミクロ経済学の全体像を把握するとともに、不動産に関係が深い会計知識を身につけていると判断できる。
 - ③ 建築、都市の構成について全体像を把握するとともに、不動産に関係が深い情報に関する知識を身につけていると判断できる。
2. 不動産関連ビジネスにかかる基幹的な国家資格である、宅地建物取引士に求められる能力を身につけていると客観的に認めることができる。
3. 不動産にかかる開発・流通・金融・経営・管理などをカバーするビジネス、ファイナンス、または、デザインについて、その仕組みがわかるとともに、これを適切に行う能力を修得したと認めることができる。
 - ① 不動産のビジネスにかかる不動産取引、不動産事業経営、不動産企業経営、不動産管理を適切に行うための必要な知識と技能を身につけていると判断できる。
 - ② 不動産のファイナンスにかかる不動産市場分析、不動産価格評価、不動産金融、不動産投資、不動産戦略を適切に行うための必要な知識と技能を身につけていると判断できる。
 - ③ 不動産の資産価値の創造にかかる不動産企画、空間デザイン、図面作成、調査診断、改善提案、不動産情報処理を適切に行うための必要な知識と技能を身につけていると判断できる。

＜カリキュラム・ポリシー＞（教育課程編成に関する方針）

不動産学科は、土地、建物、地域や環境などで構成される不動産の適切なあり方を実現するための基礎となる法学、経済学、経営学、工学とともに、それらを統合する不動産学を学修することで、高度で広範な専門知識と実践力を修得することを目指すとともに、状況に対応して切り拓く人間力の涵養も目指し、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

1. 1年次には、広く不動産に関する基礎学力を養成するために必修科目（不動産学基礎演習及び専門基礎科目群）を設けるとともに、少人数、中人数の複数クラスに分けて授業を行い、学習効果を高める。
2. 1年次には、国家資格である宅地建物取引士資格試験に取り組んで合格する能力の育成の徹底を図るとともに、実務知識の修得を通じて不動産業と不動産学への関心を高め、併せて目標に向かって継続努力する資質の涵養を図る。
3. 2年次からは、ビジネスコース、ファイナンスコース及びデザインコースで編成される3コースのいずれかを選択して所属し、各自の到達目標と目標進路の実現に必要な基礎力及び専門能力の養成を図る。
4. 各コースの概要
 - (1) ビジネスコースでは、不動産ビジネスを適切に行うための知識、特に不動産の取引、不動産事業の経営や管理、企業の経営に必要なとされる素養を身につける。
 - (2) ファイナンスコースでは、不動産ファイナンスを適切に行うための知識、特に不動産の市場分析や価格評価、不動産に対する投資や金融、不動産の活用に必要なとされる素養を身につける。
 - (3) デザインコースでは、不動産を適切に創り出すための知識、特に不動産の価値を高める観点から行う不動産の企画や再生、都市や建築のデザイン、街づくり、集合住宅の管理のほか、不動産の情報処理に必要なとされる素養を身につける。

都市と環境の経済学

開講学科等：不 | 3年次 | 2単位 | 開講期：後 | 備考：2016年度以降入学生のみ履修可能

原野 啓 (はらの けい)

■授業の概要

どこに住むのか？ どのぐらいの大きさの住宅に住むのか？ 土地用途規制はなぜ存在するのか？ 不動産市場におけるこれらの現象は、都市の発展や形成と大きなかかわりを持っている。この授業では、ミクロ経済学を応用して、都市と住宅との関係について学び、住宅問題に対する理解を深めるものとする。

■到達目標 (ディプロマ・ポリシー：ビジネスコース 3①、ファイナンスコース 3②、デザインコース 3③)

一般目標：①都市の形成メカニズムを理解する。

②都市と不動産問題との関係を理解する。

③都市と環境問題との関係を理解する。

個別目標：不動産関連の政策（所得補助政策、家賃補助政策、用途地域規制など）が経済合理性を持っているのかどうか分析できるようになること。

■履修条件

「ミクロ経済学」、及び「土地と住宅の経済学」を履修していることが望ましい

■評価基準・方法

授業で行う小テスト (60%) と期末試験 (40%) の結果に基づき評価する。小テストは学生の理解度を確認する。小テストは目的なので、難しいものにはしない。また、期末試験の受験資格は講義回数の 4/5 (= 12 回) 以上に出席することとなっている。したがって、12 回の出席が 12 回に満たない場合、期末試験の受験を認めないので、十分に注意すること。なお、講義中の私語、遅刻は減点対象となるので注意すること。

■教科書

毎回レジュメ (講義ノート) を任意の WEB 上で配布するので、各自ダウンロードして持参すること。レジュメを持参しない場合は出席を認めない。

■参考書

山崎 福寿/浅田 義久 著 「都市経済学」 日本評論社

佐々木公明、文世一 「都市経済学の基礎」 有斐閣アルマ

佐藤泰裕 「都市・地域経済学への招待状」 有斐閣

N.G. マンキュー 「マンキュー経済学 (1) ミクロ編」 東洋経済新報社

■授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1	授業内容：ガイダンス (講義内容、運営方針および成績評価の説明など) 事前学修 1.0hr: シラバスを読み、講義の受け方を確認する。 事後学修 3.0hr: レジュメの入手方法を確認し、ミクロ経済学の「余剰分析」を予習をする。
2	授業内容：都市経済学と住宅問題の関係 事前学修 2.0hr: レジュメの「都市と住宅問題」の部分を読んで予習する。 事後学修 2.0hr: 「都市と住宅問題」について復習し、例題に即ち理解を深める。
3	授業内容：都市はなぜ存在するのか？ (都市の集積と比較優位性) 事前学修 2.0hr: レジュメの「比較優位」の部分を読んで予習すること。 事後学修 2.0hr: 「比較優位」について復習し、都市がなぜ生じるのか整理する。
4	授業内容：家計と住宅面積の関係 (無差別曲線) 事前学修 2.0hr: レジュメの「無差別曲線」について予習する。 事後学修 2.0hr: 「無差別曲線」の概念について復習する。特に、無差別曲線の特徴について整理する。
5	授業内容：家計と住宅面積の関係 (予算制約線) 事前学修 2.0hr: レジュメの「予算制約線」について予習する。 事後学修 2.0hr: 「予算制約線」について予習する。特に、予算制約線の導出について整理する。
6	授業内容：家計と住宅面積の関係 (最適な消費) 事前学修 2.0hr: 「無差別曲線」と「予算制約線」について復習しておく。 事後学修 2.0hr: 「家計の最適な消費」について復習し、例題を解いて計算問題の解き方を確認する。
7	授業内容：家計と住宅面積の関係 (所得補助と家賃補助) 事前学修 2.0hr: レジュメの「所得補助」と「家賃補助」について予習する。 事後学修 2.0hr: 「所得補助」と「家賃補助」が「家計の最適な消費」に及ぼす影響について整理する。
8	授業内容：面積/地価/距離に関する土地の利用方法 (家計の土地利用) 事前学修 2.0hr: レジュメの「家計の消費と距離」について予習する。 事後学修 2.0hr: 「家計の最適な消費」が「距離」によってどのように変化するのか整理する。
9	授業内容：面積/地価/距離に関する土地の利用方法 (所得タイプ別にみる土地利用) 事前学修 2.0hr: 「家計の最適な消費」と「距離」の関係について復習する。 事後学修 2.0hr: 「家計の最適な消費」が「所得」によってどのように変化するのか整理する。
10	授業内容：面積/地価/距離に関する土地の利用方法 (土地利用と市場地代) 事前学修 2.0hr: 「所得」と「付値地代」について復習しておく。 事後学修 2.0hr: 「付値地代」と「市場地代」の違いについて整理する。
11	授業内容：土地利用と外部不経済 (社会的余剰による評価) 事前学修 2.0hr: ミクロ経済学の「余剰分析」を復習しておく。 事後学修 2.0hr: 外部不経済が「余剰」をどのように変化させるのか整理する。
12	授業内容：土地利用と外部不経済 (指導監督政策による外部性への対応) 事前学修 2.0hr: レジュメの「指導監督政策」の部分を読んで予習する。 事後学修 2.0hr: 「指導監督政策」が「余剰」をどのように変化させるのか整理する。
13	授業内容：土地利用と外部不経済 (市場重視政策による外部性への対応) 事前学修 2.0hr: レジュメの「市場重視政策」の部分を読んで予習する。 事後学修 2.0hr: 「市場重視政策」が「余剰」をどのように変化させるのか整理する。
14	授業内容：土地利用と外部不経済 (外部不経済と市場地代の分析) 事前学修 2.0hr: 「付値地代」「市場地代」「用途規制」について復習しておく。 事後学修 2.0hr: 外部不経済が「付値地代」「市場地代」をどのように変化させるのか整理する。
15	授業内容：まとめ：住宅問題と都市の経済学的整理 事前学修 2.0hr: これまでの講義内容を復習し、分らないところを確認する。 事後学修 2.0hr: これまでのレジュメ・例題・小テストに再度取り組み理解を深める。

出席及び教室運営ガイドライン (宅間先生)

1. 出席

- ① 出席とは、各時限の開始から終了まで参加することであるが、教員や学生の移動及び最初の講義準備時間などの現実的与件を配慮して、各時限の開始から10分以内に入室した場合は出席として扱う。
- ② 10分以降に入室した場合は、遅刻とし出席の半分としてカウントする。
- ③ 浦安キャンパスガイドラインに定められ、履修の手引きにより学生に周知されている5分4以上の出席条件は、あくまでも定期試験受験資格の条件であり、5分1まで欠席しても良いという条件ではない。

2. 授業時間中の教室運営

- ① 私語などのように講義の円滑な進行や学生の聴講を妨げる行為を禁止する。
- ② 飲食は禁止する。ただし、体調管理のための水分補給については個別に対応する。
- ③ 授業の内容上必要とされる電子機器を除き、携帯電話、その他電子機器の授業に関わらない目的での使用を禁止する。講義内容の理解のための一時的な電子機器の使用に関しては個別に対応する。
- ④ トイレなどの理由で一時退室を希望する場合は、学生証と携帯を教員に預けてから一時退室を認めることを原則とする。授業の流れやプライバシーへの配慮など、状況に応じた判断は担当教員に委ねる。

以上

※ ただし、上記ガイドラインは通常の「対面授業」の場合を想定している。



2020年度 オフィスアワー 前期

	月	火	水	木	金
1			劉 4814		
2	小松 4604		中城 4502	原野 4515	小川 4701
	山本 4612 主任		周藤 4511 就	浜島 4810	
	前島 4608		竹迫（宅建） ※スチューデントルーム	中村（宅建） ※スチューデントルーム	
昼 休 み	杉浦 共同研究室	杉浦 共同研究室	杉浦 共同研究室	杉浦 共同研究室	すとう 周藤 共同研究室
3	石川（宅建） ※スチューデントルーム		杉浦 4808	よろず 相談	兼重 4601
	表 4606		宅間 4610		竹迫（宅建） ※スチューデントルーム
4	藤木 4513				石川（宅建） ※スチューデントルーム
	小杉 4616	※新型コロナの影響により、当面の間、スチューデントルームによる指導は行いません。			
5		齋藤 4816		塚原 4701 製図室	
		中村 4514 資格/宅建			

記号の見方

ビ・・・ビジネスコース長 フ・・・ファイナンスコース長 デ・・・デザインコース長
 資・・・宅建、その他資格支援 就・・・就職支援担当 学生・・・学生支援担当
 主任・・・学科主任 宅建・・・宅建指導担当

「よろず相談」・・・皆さんの学修・学生生活に関する相談について、何でも気軽に応じます。

※何か困ったことがありましたら、担当する教員のオフィスアワーを訪ねてみましょう！

※スチューデントルームでの指導は、新型コロナウイルスの状況のみて実施します。

不動産学部行事等年間スケジュール（2020年度） **※今後、変更の可能性あり**

		1年	2年	3年	4年
前 期	4月	卒業論文計画書			
	5月	海外研修（ケンブリッジ・韓国）参加者募集			
		夏季インターンシップ募集			
	6月				
	7月	[宅建]試験願書受付期間			
	8月	夏季インターンシップ			
	9月	海外研修（ケンブリッジ・韓国）			
後 期	9月				
	10月	10/18(日) [宅建]本試験			
	11月		3年次ゼミ募集期間		
		春季インターンシップ募集			
	12月	専門主専攻 コース 希望調査期間			
	1月	所属コース発表			卒業論文発表会
	2月			学内企業セミナー	
	春季インターンシップ				
	3月				

注：詳細な日程は、学部ホームページ、掲示、案内などの配布物で確認してください。

不動産取引演習 A・B(1年生必修科目) (中村先生)

◎講義内容

本講義は、1年生を対象に、不動産取引に関する基礎知識を講義します。みなさんは4年間で様々な視点から不動産を学びますが、本講義ではまず、1年生の間に、不動産を取り巻くルールについて、取引の具体的事例を通して学びます。

具体的には、不動産は、どのようなルールに基づいて取引(売買・賃貸)されているのか(民法)、マンション建築や不動産開発はどのようなルールに従って行われているのか(法令上の制限)のほか、将来不動産業界で活躍するために最低限必要となるルール(宅地建物取引業法)に関する講義を行います

◎講義目標

- ・法律に関する基礎的な用語を学び、その意味を理解することができる。
- ・実際の不動産取引の場面に応じてどのようなルールが使われているかを理解することができる。
- ・宅地建物取引士資格試験の教科書を読んでその内容を理解することができる。
- ・宅地建物取引士資格試験の正解を導き出すことができる。

◎科目の位置づけ

1年生の必修科目です。履修登録は、自動的になされます。

◎進級要件、卒業要件

- ・「不動産取引演習 A (4単位)」の単位を修得しないと、2年生に進級することができません。

・「不動産取引演習B（4単位）」の単位を修得しないと、卒業することができません。

◎単位を修得するために

単位を修得するためには、毎回授業に出席することが必要です。病気などのやむを得ない事情を除いては、講義に出席してください。

単位の認定は、宅地建物取引士資格試験を受験した上で、解答を再現することが前提となります。

また、（公欠等を除き）5分の4以上の出席がないと単位を取得できないことが原則です。

◎教科書について

- ・教科書 スッキリわかる宅建士 2020年版（TAC出版）
 - ・問題集 スッキリとける宅建士 2020年版（TAC出版）
- 明海ショップや書店で必ず購入して予習、復習してください。

以上

不動産学部 1 年生向けガイダンス動画のご案内 (中村先生)

不動産学部 HP にすでに記載済みですが、授業開始前課題②を以下の通りご案内します。

不動産学部 1 年生を対象に、宅建試験に関する解説動画を用意しました。講義開始 (5 月 25 日予定) までに視聴してください。

動画は 3 本あります。

1. **不動産学部と宅建試験** (14 分)

<https://youtu.be/7J7q3PAcllQ>

2. **宅建試験とは** (19 分)

<https://youtu.be/JnNeexZ7cYI>

3. **宅建試験合格法** (14 分)

<https://youtu.be/b7PNCnDJTas>

なお、この動画は不動産学部 1 年生のためのガイダンス動画です。動画の URL を不動産学部 1 年生以外に公開、共有しないでください。動画を学外の方に見せることもご遠慮ください。

以上

不動産法入門 テキストの入手方法について（新1年生）（浜島先生）

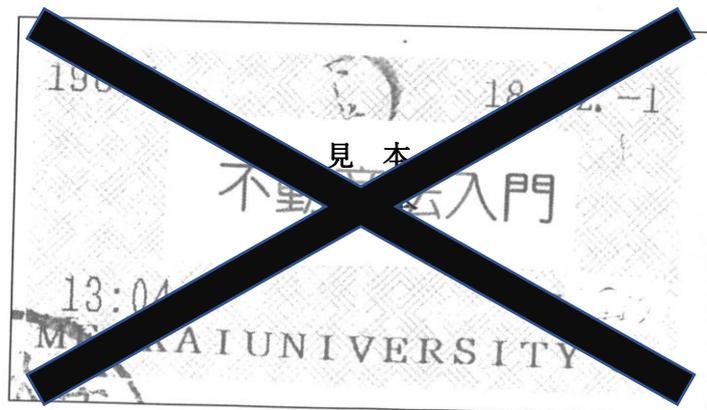
・「不動産法入門」は、1年生前期必修の授業です。

・~~初回の授業までに~~、証紙販売機で「不動産法入門テキスト」の証紙を買い、証紙の**表に**

~~ボールペンで~~学籍番号と氏名を記入して、自分のクラスの教室に行って下さい。教室
で証紙とテキストを引き換えます。

・~~それ以降は、共同研究室で証紙とテキストを引き換えます。~~

証紙サンプル



~~表に学籍番号と氏名を記入して下さい。~~

※今年度は、新型コロナウイルスの影響により、この授業のテキストは販売いたしません。PDF ファイルによる配布を予定しております。ご注意ください。

資格取得に伴う単位認定の申請を忘れずに<1年生> (兼重先生)

入学前に宅建士をはじめとした資格を取得して、単位の認定を受けることを希望する学生は、『履修の手引き』の該当ページをよく読んだ上で、各自、webポータルシステムから「学事課のお知らせ」に入り、「単位認定制度について」のPDFファイルを参照してください。

申請書類の提出は、kyomu4993@meikai.ac.jp宛てに、2020年5月18日(月)9時～20日(水)17時(厳守)の期間内に、メールで提出してください。

特に、宅建士試験にすでに合格している学生がこの手続きを忘れると、不動産取引演習A,B,Cを改めて履修登録し、講義を受け、単位を修得することが必要となるので注意してください。

分からないことがあれば、周藤利一教授 (suto@meikai.ac.jp) に問い合わせること。

不動産学部の宅建合格支援プログラム (中村先生)

オープンカレッジ宅建講座 (在学生優遇措置)

※例年、オープンカレッジでの指導を行っておりますが、Covid-19の影響により開講の可否については検討中です。詳細は、別途連絡いたします。参考として昨年までの内容について記します。

浦安キャンパス内で開講される「オープンカレッジ宅建講座」は、キャンパス内のダブルスクールで、宅建合格への力強い援軍です。

本試験前日まで、みっちり、かつ、効果的に学習します。

不動産取引演習A・B・Cの担当講師をはじめ、経験豊かで人間性に優れた講師陣が丁寧に指導します。

これまでの合格者のほとんどは、このオープンカレッジを受講しています。

費用：「パーフェクトコース」65,000円＋教材費（2冊）5,830円がおすすめです。

[宅建] 夏季特別講座 ※2020年度は中止

前学期の定期試験終了後に2日間、浦安キャンパス内で実施します。

希望者は誰でも受講することが可能で、無料です。

[宅建] 夏セミナー ※2020年度は中止

8月中に夏セミナー（学内）を実施します（お盆前後に各4日程度を予定しています）。詳細は5月以降発表します。

資格取得奨励奨学金制度

学内にあるオープンカレッジで「宅地建物取引士講座」を受講し、宅建士の国家試験に合格した者に対し、奨学金を給付します。

単位認定制度

宅建試験に合格すると、認定申請により、最大12単位が認定されます。

宅建合格者に対する就職支援

不動産学部では、宅建試験合格者リストを作成し、就職希望者に対して積極的に就職先を紹介しています。

これまで、宅建合格者の就職率は100%です。

令和2年度試験のスケジュール（予定）

インターネット申込み 7月1日(水)9時30分～7月15日(水)21時59分

郵送申込み 7月1日(水)から7月31日(金)まで

郵送申込み書類は、不動産学部で配布します（予定）。

※申込みは学生が自分で行ってください。

受験手数料 7,000円

試験日時 10月18日（日）午後1時から3時まで（2時間）

合格発表 12月2日（水）

スチューデントルーム （中村先生）

場所：第2管理・研究棟4階

目的：①宅建をはじめとする資格取得を目指す学生のための自習室

②担当教員から直接の指導を受けられる部屋

使用方法

- ・ほかの学生の迷惑にならないように静かに勉強しましょう。
- ・ごみは自分で片づけましょう。
- ・ドアは開けておきましょう。

注意

スチューデントルームが満員との時、隣のゼミ室が開いている場合に限り、使用することができます。

※COVID-19 感染拡大防止のため、当面の間、スチューデントルームでの指導は行いません。

宅建合格者の皆さんへ

2020年度前期 「不動産特別講義Ⅰ」 月曜日2時限

担当 周藤利一（すとうとしかず）4511 研究室

※ 教室は別途連絡します。

※ 時間割表では、1年次となっていますが、
2年生以上も受講可能です。

※講義のポイント

- 宅建の受験勉強で得た知識を完璧なものにする。
- 就職して実際に役立つ不動産の知識を修得する。

※定期試験はありません。

講義に対する貢献度で評価します。

2020年度前期「不動産特別講義Ⅱ」を開講します
(水曜日5限目、2407講義室)

〈講座の目的〉

1. 不動産の鑑定評価について、基礎知識を習得する。
2. 国家資格である不動産鑑定士短答式試験の合格を最終的な目標とする。

〈対象学生〉

受講資格は特に設けない。不動産の鑑定評価について興味を持ち、学習意欲のある学生はだれでも受講できます。(1年生から受講可能!)
なかでも。。

1. 不動産学部に入學したからには、不動産関連資格の最高峰といわれている不動産鑑定士を目指したい学生
2. 宅建士試験合格の次のステップとして、不動産鑑定士短答式試験の受験を予定している学生

上記の学生は特に歓迎します。

〈担当講師〉

竹迫 守夫 (たけさこもりお) 4504 研究室

〈コメント〉

不動産鑑定士試験の指導歴(本学研究センターでの指導含む)20年以上のノウハウと、現役の不動産鑑定士としての豊富な実務経験を活かして、鑑定評価理論の全体構造から分かりやすく指導します。

講義中、適宜不動産鑑定士短答式試験のガイダンス、受験準備の相談などにも対応します。

海外短期研修制度の案内 (周藤先生・表先生)

本学部では、勉強の視野を国際舞台に広げながらグローバルな感覚や知見を深化させ、本校が目指す国際社会で活躍しうる人材になるきっかけを提供する目的で海外短期研修を提供しています。

海外短期研修の対象国はイギリス、韓国、中国があり、2019年度は9月上旬にイギリスのケンブリッジ大学（14名参加、一人当たりの経費：533,633円）に10日間と韓国の建国大学校（5名参加、一人当たりの経費：181,840円）に7日間、短期研修を実施しました。短期海外研修の人気は高く多数の学生が応募するので毎年、選抜を行っています。

海外研修生には、「奨学海外研修派遣学生（費用の全額を大学が負担）」と「海外派遣留学生（費用の一部を自己負担）」の2種類があります。

(1) 奨学海外研修派遣学生

- 学部の選考基準に基づき推薦された後、ケンブリッジ大学4名程度、韓国5名程度が選抜されます。（予定）
- 研修費用については全額を大学が負担します。（予定）

(2) 海外派遣留学生

- 前年度のGPAが2.0以上の者は誰でも応募することが可能ですが、募集人数を超えた場合は選抜があります。
- ~~応募時期は、ケンブリッジ研修が4月下旬から5月上旬、韓国研修も同様の期間を予定しています。~~
- 研修費用については3分の1程度を大学が補助します。（予定）
- 注意：今年度のケンブリッジへの研修は新型コロナの影響で残念ながら中止となりました。韓国研修の場合は、事態が好転すれば実施時期を変更し2021年3月春休み期間中に実施します。その場合、ケンブリッジ研修分の予算も活用して参加人数を大幅に増員する予定です。

(3) 研修後、体験記の執筆、報告会を行います。

(4) イギリス研修に関する質問は、周藤（4511研究室）、
韓国研修に関する質問は、表（4606研究室）にお願いします。

2019 年度イギリスケンブリッジ大学研修の概要

2019 年度は「ヨーロッパの不動産市場と都市再生」というテーマで研修を行いました。ケンブリッジ・エマニュエル・カレッジに宿泊し、講義を受け、ケンブリッジやその周辺を見学しました。さらにロンドンとその郊外に移動し、講義を受け、不動産開発の現場を見学し、有益な成果を得ることができました。短期間ではありましたが、日本とイギリスの不動産市場、不動産開発を対比することができ、イギリスの生活を通じてイギリスの生活や文化に触れるよい機会になりました。



授業風景



パンティング(川くだり)

2019 年度韓国研修の概要

2019 年度は 15 回目で計 5 名の学生が、姉妹校である釜山外国語大学校、建国大学校を訪問し、講義参加及び交流会などを行いました。研修期間中、釜山、ソウルなどを訪問し、韓国の不動産事情や文化を学びました。特に訪問先大学の学生との交流会などを通じて日本と韓国の同年齢の若い学生たちが直接会って語り合いながら交流を深めることの意義は大きいと思います。交流は非常に短い時間でありましたが、お互いに親しくなり LINE アドレスの交換や今後も交流を続けたいと話し合う姿を見て研修の意義を再三認識しました。



韓国マンションのモデルハウス見学



韓国学生との交流会後の記念撮影

インターンシップについて (前島先生)

就労体験型 と 選考型

- ・ 本来は、就労体験（5日以上）
- ・ 近年は、就職活動の選考と結びついたものが増えている（1 day、2days、短期間が多い）

メリット

- ・ 実社会を経験し、社会人としての心構えを身に着ける。
- ・ 卒業後の進路選択についての示唆を得る。
- ・ より明確な目的意識をもって不動産学を学ぶ。
- ・ 3年生（選考型）：志望企業の雰囲気を知れる。人事担当者や志望学生との繋がりができる。

不動産学部主催インターンシップについて

本学では、夏季と春季の休暇期間に就労体験型（5～10日）のインターンシップを実施しています。

「浦安キャンパス総合教育センター主催（全学共通）」と「不動産学部主催」があります。

スケジュール、事前の研修、提出物など共通する部分もありますが、不動産関連企業への派遣は不動産学部主催に限られます。不動産流通業や不動産管理業以外に、個人での応募機会が限られる土地家屋調査士事務所、不動産鑑定事務所、地方自治体への派遣実績があります。

応募対象	不動産学部の2年生及び1年生 ※3年生の夏休みからは、多くの企業が選考型インターンの募集をしていることから、その前の時期を主な対象に考えています。状況に応じて、3・4年生も応募可能です。 ※宅建士試験を優先してください。
応募期間	5月（夏季）と11月（春季）の年2回 ※応募開始初日のガイダンスに参加してください。
単位認定	インターンシップA～D（各2単位） ※企業での就労以外に、履歴書講習、事前研修会、報告会への参加および報告書類、体験記の提出が必要です。
注意事項	<ul style="list-style-type: none">・ 原則食事や通勤（車での通勤は不可）にかかる費用は学生負担です。・ 報酬はありません。・ 選考が始まってからの辞退は、原則認められません。

資格外労働の注意 (山本先生)

- 在留資格「留学」で在籍する学生は、大学で教育を受けるという活動に対して、日本に滞在することが許可されているのであって、収入や報酬を伴う活動を行うことは認められていない。したがって、アルバイトを行う必要が生じた場合には、あらかじめ「資格外活動」の許可を受ける必要がある。

- ・ 勉学の妨げにならない範囲でのみ、1週28時間まで許可される。

- ・ 長期休暇期間（夏季休暇、冬季休暇、春期休暇）に限っては、1日8時間まで認められる。

※なお、風俗営業や風俗関連営業（パチンコ店、マージャン店、ゲームセンターなど）が行われている場所でのアルバイトは禁じられている（たとえ、皿洗いや清掃などでも禁止！）。

- 制限時間を超えたアルバイト、禁止された場所でのアルバイトをした場合には、国外退去等の処分を受ける場合もある。

<参考：出入国管理及び難民認定法施行規則>

第19条

5 法（「出入国管理及び難民認定法」）第19条第2項の規定により条件を付して新たに許可する活動の内容は、次の各号のいずれかによるものとする。

一 1週について28時間以内（留学の在留資格をもって在留する者については、在籍する教育機関が学則で定める長期休業期間にあるときは、1日について8時間以内）の収入を伴う事業を運営する活動又は報酬を受ける活動（風俗営業若しくは店舗型性風俗特殊営業が営まれている営業所において行うもの又は無店舗型性風俗特殊営業、映像送信型性風俗特殊営業、店舗型電話異性紹介営業若しくは無店舗型電話異性紹介営業に従事するものを除き、留学の在留資格をもって在留する者については教育機関に在籍している間に行うものに限る。）

二 前号に掲げるもののほか、地方入国管理局長が、資格外活動の許可に係る活動を行う本邦の公私の機関の名称及び所在地、業務内容その他の事項を定めて個々に指定する活動

不動産学部 教員・研究室一覧 (2020.04.01現在)

教員名(研究室番号)	
5F	石川 秀才 (4504) 
	周藤 利一 (4511) 
	竹迫 守夫 (4504) 
	塚原 光顕 (4508) 
	中城 康彦 (4502) 
	藤木 亮介 (4513) 
	中村 喜久夫 (4514) 
	原野 啓 (4515) 

教員名(研究室番号)	
6F	兼重 賢太郎 (4601) 
	小杉 学 (4616) 
	小松 広明 (4604) 
	宅間 文夫 (4610) 
	表 明榮 (4606) 
	前島 彩子 (4608) 
	山本 卓 (4612) 

教員名(研究室番号)	
7F	小川 清一郎 (4701) 

教員名(研究室番号)	
8F	齋藤 千尋 (4816) 
	杉浦 雄策 (4808) 
	浜島 裕美 (4810) 
	劉 一辰 (4814) 

★ 一覧に名前のない先生は【非常勤講師室】で確認してください!

